

「未経験を恐れずに進む」

(株)竹一工務店 代表取締役 たけうち 竹内 かすま 一真



住 所: 加古川市志方町志方町1555-3
T E L: 079-439-5642
営業内容: 新築、水回り・内外装リフォーム、エクステリア等 住宅に関連する工事全般

私は志方町で工務店をしています。この仕事をする事になったきっかけは、父が同じ仕事をしていたからです。

高校を卒業し建築の専門学校を経て、福崎の社寺建築の工務店に入社しました。そこでは木の特性や道具の使い方をゼロから教わりました。社寺建築の材料は住宅の倍以上のものが多くですが、作業工程には繊細さが求められます。厳しい先輩に毎日怒られながら仕事をさせてもらいました。

が、そこでよく言われたのが「なぜこうなるのか、どうしたらそうできるのかを考えなさい」ということでした。この言葉は今の私の人生においてすごく大事なものになっています。

仕事柄、毎日同じ手順でこなすというものがほほなく、初めての作業や、経験はあっても難易度が高い作業が多々あります。そんな時に『どうしたら完成させることができるか』を考えたのがすごく好きです。その結果、お客さんに喜んで貰えたら、こんなにやりがいのあることはありません。

元々大工として始まった建築業ですが、今は『建物のことなら何でも』を謳っています。依頼される仕事も多岐に渡り、経験したことのない製作作業の割合が多くなってきました。「やったことがないので」と人に任せるのは簡単ですが、どうしたらいいか考えて一度でも完成させたら、それはもうやったことがある作業になります。例えば1軒の家を建てるとして、更地の状態から始めるとだいたい15〜20種類ぐらいの職人さんが現場に入るようになります。大工さんの作業だけでも相当な幅があって、職人人生で経験しないこともあるぐらいです。それがさらに

他の職人さんの作業分野まで広げると、建築業だけでも考えられないほどのバリエーションがあります。

ここまでせっかく経験を積み重ねてきたので、できることはどんどんやってみたいです。それは仕事だけではなくて、日頃の生活の中でも同じことを考えています。

わからないことに踏み込んでいくのは少し勇気がいります。いつも「やっぱりやめとこうかな」と一度は考えますが「できないよりできた方がいい。やったことないより、一度でもやったことがある」と思ってやってみたら、意外と簡単だったり、なるほどと思えるような内容だったりで、やってみただけで惨敗…。みたいなことはほぼありませんでした。

最近所属している商工会議所青年部の仲間誘われて、仲間が書いた『加古川のうた』という曲の演奏に、プロに混じって参加してもらいました。自分の人生でこんな経験ができたのも、なんでもやってみようと思っ生きてきたからかなと思ってます。

この先も未だない経験に出会えることを願って、明日も未体験に臨んでいきます。